

「明日からのGDM妊婦ケアに活かせる」シリーズ 第1回

～GDMの基礎知識と妊婦の心理を理解する～

*平成29年3月までに「技術編」「総合編」開催決定!

プログラム

- 10:00～11:00 講演1
GDMの基礎知識—病態と医学的管理
久留米大学医学部産婦人科学教室 教授 堀大蔵
- 11:00～12:00 講演2
GDM妊婦の心理とケア
久留米大学医学部看護学科母性看護学 准教授 田中佳代
- 13:00～15:00 グループディスカッション
テーマ「GDM妊婦のケアで悩むこと・苦手なこと」
進行：久留米大学病院総合周産期母子医療センター 助産師 栗屋和枝
久留米大学病院内科総合外来 糖尿病看護認定看護師 岡村禎子

- 日時：2016年10月2日（日）10:00～15:00（受付開始9:30）
- 会場：久留米大学病院 本館2階 第1会議室（久留米市旭町67番地）
- 定員：50名（締切：9月26日）
*締切前でも定員になり次第締め切らせて頂きます
- 対象：妊娠糖尿病に関わる看護師・助産師、看護・助産学生
- 参加費：一般3500円 糖尿病と女性のライフサポート研究会会員1500円
学生（大学院生含む）1000円
*一般で全コース受講の方はネットワーク研究会会員への入会をお勧めします
- 申込方法：FAXまたはE-mailで別紙の申込書をお送りください
- 問合せ先：久留米大学医学部看護学科 大内田慶子
gdmsemina@med.kurume-u.ac.jp

- *本セミナーは助産師ラダーの「代謝」研修対象とし修了証を発行いたします。
- *日本糖尿病療養士認定更新のための研修単位（1群・2群いずれか1単位）の認定申請中です。
- *筑後糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位（4単位）を申請中です。

スタッフより

わが国では、妊婦の高年齢化と共に妊娠糖尿病（GDM）妊婦は増加傾向にあります。母体の高血糖は母児共に様々な影響を及ぼし、産後も将来の2型糖尿病発症を低減するためにも、妊娠中からの支援が必要です。GDM妊婦の妊娠中から産後までのケアの実践力を持つ看護職者の育成を目指して、3回にわたるセミナーを企画しました。今回は「知識編」としてセミナーを開催します。今から助産師になろうと勉強されている学生さん、妊婦さんに実際に指導されている看護スタッフの方も臨床ですぐに活用できるセミナーなので是非ご参加下さい。

主催：糖尿病と女性のライフサポート研究会 (<http://www.dm-net.co.jp/dlsnw/>)
「糖尿病と女性のリプロダクティブヘルスに関わる支援ネットワークシステム構築」研究班
*本セミナーは平成28年度文部科学省科学研究（基盤研究C）の補助を受け実施